

ことば



令和6年9月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室 75-0379



仲間の存在の大きさ…



今年も例年同様酷暑の夏休みでした。7月末からは、フランスのパリにおいて、第33回オリンピック夏季競技大会が開催され、連日選手たちの活躍がテレビでも放映されていました。メダルを獲得できた選手やそうでなかった選手等結果は様々でしたが、全力で戦いに挑む選手からは多くの勇気ももらいました。その中でも注目されていた競技の1つが体操の男子団体の決勝です。

日本は1種目目の床で好スタートを切りましたが、2種目目のあん馬で落下するミスがあり、さらにその後はミスなく演技をしましたが、ライバルの中国に差をつけられ、それでも5種目目の平行棒で差を縮め、最後の種目の鉄棒につながりました。最後を託された橋本選手が鉄棒で次々と難度の高い技を決めると、最後の着地も止めて高得点をマークし、日本が金メダルを獲得しました。途中で日本のミスが出て「優勝は中国」という雰囲気になっていましたが、それでも日本のチームは誰一人として諦めていませんでした。スタッフを含め、何度も何度も円陣を組み「絶対に諦めないぞ。」と繰り返し言葉を交わし合ったと言います。最終種目の鉄棒に向かう橋本選手の姿をチームメイトたちは全員で肩を組んで見守り、奇跡の金メダルを獲得しました。エースの橋本選手は「みんなに助けられた金メダルで、この4人がいなかったらこの演技はできなかったし、やっぱり諦めなくてよかった。」と話したそうです。

オリンピックという世界の舞台と我々の生活とは大きく異なりますが、1人では立ち向かえない出来事があったときも、仲間の存在や励ましがあることで、踏ん張れることはあります。ことばの教室でも友達とのやりとりを大切にしながら取り組んでいけるように指導、支援していきたいと思



9月の行事予定



- 4日(水) ことばの相談日
- 6日(金) 研究会のため指導はありません。

親の会大そうじ・交流会

お世話になりました!



7月16日(火)に、ことばを育てる親の会による大そうじをしました。5名の保護者の方々が参加してください、プレイ室や学習室がとてもきれいになりました。そうじ後交流会をし、日頃の子どもに対する思い等いろいろな話を交流することができました。

本当にありがとうございました。

担任連絡会お世話になりました!



夏休み後半に、通級児童の学級担任の先生方と連絡会を行いました。日頃の学級での児童の様子と通級時の児童の様子を交流することができ、とても有意義な会となりました。

今後の指導に活かしていきたいです。

気象警報が出ている場合



(大雨警報・暴風警報・暴風雪警報)

3つのうち1つでも警報が出ている場合はことばの教室の指導もお休みになります。



運動会に向けて考えてみたいこと

9月は、学校全体で運動会に向かって力を合わせ、大いに盛り上がる楽しい時期です。特に、高学年の子どもたちにとっては、応援の練習や委員会の仕事など、みんなのために役割を果たすという意味で、いつも以上にやりがいを感じることができ、自身の力を大きく伸ばす絶好の機会です。



その一方で、常に運動場からスピーカーを通した大きな音が聞こえてきたり、練習の予定が急に変更になったり、「勝たなければいけない。負けたらどうしよう。」と心が波打つなど、不安要素も様々に考えられます。運動会などの大きな行事は、急な変化に弱いタイプの子供も、ボディイメージがつかめていない子供も、感覚が敏感なタイプの子供にとっては、大きなストレスがかかるものです。

そのようなストレス・不安を軽減するために、おうちの方と学校で連携したり、子供本人と担任の先生とで相談をしたりして、「運動会の流れについて見通しを持つ。」「自分に合った参加の仕方を工夫する。」ための取組が、年々充実しているようです。

例えば…

- ・ 練習の流れを、授業の始めに具体的に説明してもらい、その時間のゴールを知る。
- ・ どんなダンスをするのか、どんな音楽が流れるのか、事前(休み時間や放課後)に動画を見せてもらう。
- ・ みんなの動きを体育館の 2 階から(上から)もしくは後ろから見て、おおまかに全体把握をしてから、練習に参加する。
- ・ 「応援席や並び順は、同じ班の友達の前や後ろ。」というように、自分の位置関係を分かりやすくしてもらえよう先生にお願いをしてみる。
- ・ 「運動会なので勝敗はある。勝ったからと言って自慢しすぎない。負けても、怒った態度をとらない。負けても大丈夫。罰ゲームは無い。」と、自分の心の中で確認しておく。

不安なこと、難しそうだと感じることを、子供自身から発信するのが理想ですが、小学生のうちには「不安なことが分からない。」「分かりにくいことが分からない。」ものです。自分に合った工夫で「安心できた。」「うまくいった。」という成功体験を積み重ねることにより、自分の特徴を見つめ自分なりの方略を工夫する力が身に付いていきます。

運動会に限ったことではありませんが、運動会は観客の多さも含めやはり大きな行事ですので、おうちの方がお子さんの様子を見ておられて何か心配に感じられることがありましたら、ぜひ学校に相談をしてください。何か特別な工夫がなくても、少し先生に知ってもらっておくだけで安心できるということもあります。

【日頃から、ボディイメージを育てる活動を大切に。】

- ・ 机の下、少しでも開けたドアのすき間など、狭い所を通り抜ける。
- ・ 少し高い台の上から、目印をねらって跳び降りる。
- ・ 買い物について行き、少し重い荷物を持って運ぶ。
- ・ 雑巾がけやお風呂掃除などのお手伝いをする。
- ・ 公園の遊具で楽しく遊ぶ。(ぶらんこ、すべり台、ジャングルジムなど)

何か特別なこととして時間を設定しなくても、何気ない日常の動作の中に大切なことは詰まっています。日常の動作を大切にしてボディイメージを育てることは、運動会を成功させるに留まらず、様々な困り感を軽減させ・しなやかな心を育てることにもつながると考えます。

